



ながさき議会だより



湖すい

豊作を願って がまだすばい!



長洲町議会ホームページ
過去の議会だよりや会議録を
ご覧いただけます。

令和5年第2回定例会、第1回臨時会

補正予算、条例等

一般質問 8人が登壇し町政を問う

委員会活動

町民のひろば 長洲小6年生が議会を見学

②～⑤

⑥～⑭

⑮

⑯

支援金でくらしを応援

～臨時交付金の有効活用を～

第2回定例会 6月12日～15日

提案された補正予算、条例改正等8件を慎重に審議し、全て原案どおり可決された。

主な事業

一般会計補正予算 1億6485万円を追加し、
総額74億565万円

電力・ガス・食料品等 価格高騰重点支援給付金

物価高騰の影響を受けている低所得世帯
の生活安定を図る

1世帯あたり3万円

- 対象 ①令和5年度の町民税均等割が
非課税世帯
②急激に収入が減り、①
と同様の事情があると
認められる世帯
- 対象数の見込 2,600世帯
- 支払予定時期 7月下旬～



子育て世帯家計応援給付金

物価高騰で生活の負担が増えている子育て
世帯が、安心して子育てできる環境を確保
するための経済的支援を図る

子ども1人あたり
1万5千円

- 対象 0歳から18歳までの子ども
- 対象数の見込 2,300人
- 支払予定時期 8月下旬～



高齢者すまいる給付金

電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金の対象外の高齢者
の生活安定を図る

1人あたり1万円

- 対象
65歳以上の高齢者
- 対象数の見込
3,600人
- 支払予定時期
8月下旬～



臨時交付金…新型コロナ対策と地域経済の支援を目的とした、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金。

一般会計補正予算

主な質疑



高齢者の情報格差
解消に向けて

問 (田成議員)
スマートフォン教室は昨年度と同様の事業だが、なぜ補正予算なのか。

答 (まちづくり課長)
昨年度は地方創生臨時交付金等を活用した。今年度は情報通信技術講習事業費補助金を3月に県に申請し、4月に交付決定したため補正予算となった。

問 (田成議員)
スマートフォン教室は、謝礼等で42回分計上されている。開催場所、対象者、周知方法等は。

答 (まちづくり課長)
月3回の講座を8月から来年2月まで中央公民館と地域福祉センターで行う。スマートフォンの使い方を知りたい人を対象に、チ

ラシやホームページ等で募集していく。



スマホの使い方、教えて！

財源のベストな配分を

問 (林議員)
高齢者すまいる給付金1万円と、子育て世帯家計応援給付金1万5千円には差があるが、金額の根拠は。

答 (まちづくり課長)
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用として、社会情勢や家庭の経済状況を考え、対象者を決定した。非課税

世帯には国の基準に従い、それ以外は配分額を考慮した。

問 (林議員)
自前の財源で、65歳以上の高齢者にも子育て世代と同額の給付の上乗せはできないのか。

答 (町長)
限られた財源の中で割り振りした。

問 (磯野議員)
県はプロパンガスに関して補助がある。本町はそれを利用しないのか。

答 (まちづくり課長)
町として、子育て世代と高齢

条 例

長洲町重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正

指定難病も対象に

問 (林議員)
改正により公費負担医療が二つ以上使えるが、患者が支払う一部負担金は減額になるのか。

者に特化した支援をすると判断した。

問 (福本議員)
介護施設等の入所者は申請手続きが難しいのではないかと。町の対応は。

答 (福祉保健介護課長)
施設の管理者が町からの通知を管理し、口座変更や新規対象者にも届出書や申請書等を適切に案内されている。未申請の人には勧奨通知を行い、多くの支給につながるよう努める。

答 (福祉保健介護課長)
重度心身障害者の指定難病の一部負担金も対象となり、軽減する。1医療機関の1か月の窓口支払いが、通院で上限1020円、入院で上限2040円となる。



令和4年度長洲町一般会計繰越明許費の報告

単位：万円

事業名	予算計上額	繰越額	現況
役場庁舎空調設備等更新事業	26,966	1,426	完了（4月）
子育て世帯家計応援給付金	30	6	完了（5月）
社会保障・税番号制度に係る戸籍情報システム改修事業	443	443	完了（〃）
長洲斎苑の管理及び改修事業	161	161	12月完了予定
道路等整備事業	17,400	17,400	入札等準備中
町営住宅管理事業	2,530	2,530	12月完了予定
学校施設長寿命化改良事業（小学校）	25,245	25,245	12月完了予定
感染症対策等の学校教育活動継続支援事業（小学校）	255	255	R6年3月完了予定
中学校規模適正化事業	43,441	43,441	R6年2月完工予定
感染症対策等の学校教育活動継続支援事業（中学校）	119	119	R6年3月完了予定
ながす未来館空調設備更新事業	18,517	10,927	完了（6月）



新設中学校に向けて工事が進行中



改修が始まった清里小体育館

問（田成議員）
清里小学校体育館は、改修工事により災害時の避難場所にもなるが、住民に周知が遅れている。説明会等の予定は。

答（学校教育課長）
学校だよりを保護者に配布したり、区で回覧することで、周知を図っていく。

質疑



下水道会計の繰越しの報告

単位：万円

事業名	予算計上額	繰越額	現況
浄化センター施設改築工事等委託事業	15,285	15,285	R6年3月完了予定

町道の廃止・認定



上沖洲区のユートピア長洲前

路線名	塘外1号線（上沖洲字塘外）
廃止した距離	295.7m
認定した距離	193.2m
理由	区間の一部に民有地があったため

工事請負契約

工事名	赤田・上沖洲線道路改良工事
契約金額	7128万円
契約の相手方	興亜建設工業株式会社

工事名	長洲町役場庁舎トイレ等改修工事
契約金額	9790万円
契約の相手方	株式会社山本組

令和5年第1回臨時会

令和5年5月10日

子育てと、海の恵みに支援を



一般会計補正予算3540万円を追加し、72億4080万円

一般会計補正予算

海苔養殖寒波被害に支援

令和5年1月の災害で被害を受けた海苔養殖業者に、事業の安定継続が図られるよう支援する。

●海苔網や支柱の収集・運搬・処分費用 279万円

●次期作支援のための資材購入費の補助 962万円

●水産振興奨励のための補助 242万円



暴風で傾いた海苔網の支柱

低所得の子育て世帯生活支援特別給付金事業

低所得の子育て世帯等に対し、児童一人当たり5万円の特別給付金を支給する。

●給付金 870万円

(ひとり親世帯には県が支給)



専決処分

長洲町税条例の一部改正

●個人住民税

令和6年度に導入される国税の森林環境税(一人年額1千円)を、町民税均等割とあわせて徴収する。

●軽自動車税

道路交通法の一部改正に伴う電動キックボード関連の規定の整備や、軽自動車税種別割のグリーン

化特例の期限を3年延長等。



ルールを守って乗ろう

長洲町国民健康保険税条例の一部改正

●後期高齢者支援金等の課税額にかかると限度額を、20万円から22万円に改正。

●国民健康保険税の軽減措置について、5割減の対象となる世帯の軽減判定所得の算定において被保険者の数に乘すべき金額を29万円(現行28・5万円)に引き上げ。

●2割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得の算定において被保険者の数に乘すべき金額を53・5万円(現行52万円)に引き上げ。

町政を問う 一般質問

一般質問では、議員が町に対して、町政全般にわたって施策を問います。
6月定例会では8人の議員が登壇し、一般質問を行った。
議会だよりでは、質問と答弁の要旨をまとめており、全文記録（会議録）は町ホームページに掲載している。

一般質問 目次

質問項目	質問者	ページ
災害時受援計画の現状と今後の展開は	福本みや子	7
子育て支援の独自施策の新設、事業の拡大を	磯野 博	8
通学路の点検と安全対策について	濱崎 久	9
長洲中暴力事件に伴う町の答弁は嘘ではないか		
人と動物が共生するまちづくりを!!	前田美和子	10
加齢性難聴者への補聴器購入費助成制度の創設を求める	林 敏哉	11
町独自の観光資源の取組は	荒木 睦子	12
英検検定料を全額補助へ	福田 史治	13
産地の持続的な生産力強化を	竹本 信次	14



ふくもと
福本みやこ
議員

災害時受援計画の現状と今後の展開は

答 受援マニュアル行動をし、協定先との広域的な支援体制を考える

県 の地域防災計画で、市町村は受援計画の策定が義務化されている。平時からどのような準備をすればよいのか。

答 (総務課長) 応援を円滑に受け入れるため、受援班の設置等、受援体制の整備。人的支援を受ける対象業務を整理し、業務ごとの計画。調達先の確保等、業務資源の受入れ体制の整備をしておくことだ。

問 受援体制として、班編成や各方面への連絡体制、業務の流れや分担の整理は大事だ。職員へのマニュアルの周知や情報共有はどうしているのか。

答 (総務課長) 職員は庁舎内のイントラネットの情報共有し、いつでも確認ができる。

問 職員は非常時の業務や備蓄品の確認等、次なることを考え、マニュアルに基づいて日頃から行動訓練を行っているのか。

答 (総務課長) 避難所の開設訓練を実施している。備蓄品はスマートフォンで

全職員が状況を把握できる体制になっている。

問 広域的な受援体制を作るには災害協定締結先と平時からの信頼関係が大切。顔の見える交流をしているのか。

答 (総務課長) 国、県、50の自治体。10の広域行政事務組合。20の民間企業や団体。有明圏域定住自立圏構成自治体。大分県宇佐市等の交流自治体。県トラック協会等、町内福祉避難施設等と、災害時協定を結んでいる。双方の担当者で意見交換や視察等を毎年実施している。

問 外国人への受援対応等はどうか。

答 (総務課長) 日本人と区別はしないが、言語や意思疎通の問題が生じてくるので、通訳ボランティアや外国人の会計年度任用職員、翻訳機器やソフトの活用を検討を進める必要がある。



災害時相互支援のため整備された機材と倉庫

受援計画とは
災害時において、被災地では短期間に膨大な業務が発生するため、外部からの支援を迅速・的確に受け入れて情報共有や各種調整ができるよう策定する計画。



いその 博
磯野 博
議員

子育て支援の独自施策の新設、事業の拡大を

答 教育や健康を柱とした特色ある事業を図っていく

人 口減少、子育て支援等の課題解決に向けた独自施策の新設、既存事業の拡大拡充が必要であると考える。町の見解は。

答 (町長) 国の動向を注視しつつ、人口増加や少子化対策に取組み成果が出ている自治体の先進事例等を調査し、定住、教育、子育て、福祉、産業といった各分野との連携を図りながら、特に教育や健康を柱とした特色ある事業の展開を図っていききたい。

問 本町はこの現状で良いと考えているのか。

答 (町長) 充実しているとは言えない。議員の皆様や町民の皆様からのご意見をお聞きして、国の少子化対策につなげていきたい。

町の人口	15,491人
うち外国人	706人

(6月末現在)

人口減少に歯止めがかからない

問 令和4年度の出生数と内訳は。

答 (子育て支援課長) 令和4年度の出生数は85人。内訳は、第1子が30人、第2子が30人、第3子が12人、第4子が10人、第5子が2人、第6子が1人である。

問 近隣自治体で、出産祝い金を取り上げられ話題になっている。第1子20万円、第2子30万円、第3子50万円、第4子70万円、第5子以降が100万円というものだ。

答 本町の令和4年度出生数で祝い金を実施した場合、必要となる予算は。

答 (子育て支援課長) 第1子から第6子まで85人、3100万円必要だ。

問 近隣の自治体では、小学校入学時5万円、中学校入学時10万円、高校入学時15万円の祝い金も支給している。

答 本町が実施した場合に必要な予算は。

答 (学校教育課長) 入学者数は小学校1222人、中学校1311人、高校129人で、予算は3855万円必要だ。

問 令和4年中、新築住宅は何軒建ったか。

答 また、固定資産税の減免を考えた。

答 (税務課長) 47軒だ。

答 (町長) 検討していきたい。

問 2030年問題のタイムリミットまであと7年、2050年の長洲町の姿は、この数年にかかっている。早急な検討と迅速な取組を。

答 (町長) 有明海沿岸道路や赤田・上沖洲線、南関長洲線の開通による利便性の向上等、様々な要件も含めて、本町の人口対策、定住対策、少子化対策等を検討していきたい。



はま さき ひし 久
濱崎 議員

通学路の点検と安全対策について

答 道路の拡張等早期に取り組む



腹赤小学校前の危険箇所

腹

赤小学校正門前の道路（町道上沖洲・鷺巣線）は、通行上危険であると陳情を受け調べたところ、正門前のカーブで、通勤時の車の離合がスムーズに行われず、通学時の児童が交通難に巻き込まれている。

このカーブを何とか解消することが先決であると思われる。児童の通学安全のため、住民、通勤者の交通安全上、ベストな対策が望まれるが、対策を早急にとる考えはないか。

答

（町長）

腹赤小学校前の通学路の交通安全対策が十分でないということに認識している。道幅が部分的に狭く通学路でもある。測量を行い、学校や警察等の関係機関と十分打ち合わせを行い、道路の拡張等も含めて、早期に安全対策に取り組んでいく。

問

特に、来年の4月からは、長洲中学校が統合される。道なれない子ども達が通学路として利用することになる。

早めの改修をお願いする。

長洲中暴力事件に伴う町の答弁は嘘ではないか

答

誤解を招き改めて謝罪する

問

矛盾する回答はしていないという答弁は嘘ではないか。

答

（学校教育課長）

令和4年第3回定例会の一般質問での教育長の答弁については、私の言葉足らずで、説明も不足しており、誤解を招くことになり、大変申し訳ない。

答

（教育長）

学校教育課の課長は、教育委員会の一員なので、発言の最終的な責任は教育長にあると思う。

意思の疎通や、解釈の仕方ですれ違う場面が多く、議論がなかなかかみ合わないところがあった。長年にわたり嫌な思いをさせ、ご迷惑、ご心配をかけたことを改めて謝罪する。



まえだ みわこ
前田美和子
議員

人と動物が共生するまちづくりを!!

答 動物愛護の啓発に努めていく

答 (住民環境課長)
84件である。すべて不妊手術につながっており、無秩序な増加を防ぐことができた。

問 昨年より動物基金を利用し、不妊手術の費用を全額負担する「さくらねこ無料不妊手術事業」を行っている。希望者にTNRチケットを渡し、地域猫活動を推進している。協力しているボランティアの、「望まれない命は作らない。地域で一代限りの命を全うする」という動物愛護の一途な気持ちに支えられている。申請されたチケット数と効果は。

答 (町長)
野良犬、野良猫への無責任な行為を指導するとともに、子どもから大人まで動物愛護の啓発に努めていく。

飼 い主がペットを適正に管理するとともに、飼い主のいない猫の繁殖による近隣への被害や迷惑を未然に防ぐ等、人と動物が共生するまちづくりの推進が必要では。



知ってください! さくらねこ

問 福岡県においては、人、動物、環境を一つの健康と考える

答 (住民環境課長)
地域ボランティア、サポーターの7名と連携を取りながら、地域猫の受け入れについて理解を求めていく。

問 地域猫活動は、地域住民の理解とボランティアの協力と行政の連携が必要である。今後、どのように取組んでいくのか。

答 (町長)
動物と人とが、相互に健康でなくてはならない。「健康は一つである」という概念、理念のもと、互いに共生する社会づくりをしていく。

町政を問う



はやし としや
林 敏哉
議員

加齢性難聴者への補聴器購入費助成制度の創設を求める

答 早期に助成事業を実施する

加 齢性難聴による機能の低下は、日常生活が不便になり、コミュニケーションを困難にする等、生活の質を落とす要因になり、うつ病や認知症の危険因子にもなる。しかし補聴器の装着によって、高齢になっても生活の質を落とさずに、心身ともに健やかに過ごすことができる。うつ病や認知症の予防になり、健康寿命をのばすことにも繋がる。

加 齢性難聴は10万円〜30万円と、年金暮らしの高齢者にとっては経済的負担が大きく、購入しなくてもできない高額な医療機器である。このような理由により、加齢性難聴者への、補聴器購入費の助成制度の創設を求める。

答 (町長) 現在、補聴器購入助成事業を実施している自治体の取組を参考にしながら、本町における事業内容を検討し、早期に事業を実施する。

問 早期に実施すると答弁されたが、事業の開始時期は。

答 (福祉保健介護課長) 補聴器購入助成事業を実施している他自治体の情報を収集している。できれば年度内の事業開始で準備をしていく。

問 加齢性難聴者は、中等度の症状のうちから補聴器を使用しないと、難聴が進行していく。これは医学的にも立証されている。できるだけ早く、助成事業を実施して欲しい。



急がれる補聴器購入助成制度

また、熊本県で実施している自治体は益城町のみ。本町が実施すれば、県内で2番目になる。

また、聴覚障がいによる身体障がい者に該当する認定基準は、両耳それぞれの聴力が、70dBの音量を聞き取れる人が対象である。70dBの音量とは、2m離れたセミの鳴き声を、かすかに聞き取ることができるレベルであり、障がい認定基準が高すぎる。

こうしたことから、助成制度の創設により、身体障害者手帳の交付を受けられないが、限りなく高度難聴に近い住民も含まれる。加齢性難聴で苦しんでいる住民にとって、明るい兆しが見えてくるのではないか。少しでも住民に希望を示すという意味でも、これからの高齢者福祉施策を推進、進展させていく大きな原動力になると評価する。



あらき むつこ
荒木 睦子
議員

町独自の観光資源の取組は

答 PR イベントや広報活動で町の魅力発信

町の観光資源を知ってもらった
め、町はどのように考えるか。

(町長)

答 イベントの開催やホームページ、LINE等のソーシャルメディアを活用し、テレビやラジオ、新聞等マスメディアに積極的に働きかけ、交流人口増加を図り、町の観光資源を知ってもらう。

問 5月に開催された火の国長洲金魚まつり、これこそ独自の観光資源であるが、新たな取組の考えは。

(まちづくり課長)

答 色々な方の意見を聞きながら、イベントを工夫したり、例えばステージイベントの工夫を一つとして、参加型のイベント等を考えている。

問 金魚の館の中の飲食コーナーが移転したが、そのスペースの利用や、施設の充実をどのように考えているのか。

答 絵画や町の伝統工芸品を展示する文化展等、町ならではのイベントを開催していかねばと考えている。何度も来ていただけるとな施設に変えていきたい。

(まちづくり課長)

問 長洲町を紹介するパンフレットができています。この一冊の中に、観光、産業、祭り、歴史、食が紹介されているが、活用はどのようにしているか。

(まちづくり課長)

答 町外のイベントでの配布や、金魚の館に無料で配布するように置いている。



町の魅力満載

問 港や駅に設置し、受付やタクシーの運転手に配布し、観光案内ができるようにしてはどうか。

(まちづくり課長)

答 観光パンフレットをもとに案内、問い合わせへの対応等ができるよう、タクシー会社等と協議して、町全体がおもてなしの心で、来られる人に対応するような体制づくりを進めていく。

問 世の中はデジタル化が進み、情報通信技術を活用し、訪れる人のニーズに合わせた効果的な観光案内が求められる。今後、デジタル化を活かした取組を伺う。

(まちづくり課長)

答 金魚等を紹介した動画を広く周知するため、観光パンフレットにQRコードを掲載し、スマートフォンで案内できる仕組みをつくっている。今後もデジタル化、ICTの力で、町の観光の取組を進めていく。



ふくだ ふみはる
福田 史治
議員

英検検定料を全額補助へ

答 現在、3級以上受験で全額補助を実施している

小 学校の英語教育にA・L・T（外国語指導助手）やN・T（ネイティブ・ティーチャー）及び英語専科教員が配置されているが、町の見解を伺う。

答（教育長）
学習指導要領の英語科は小学5、6年生、中学1年生から3年生までが評価の対象である。町独自の学習状況意識調査では、「英語は好き」と答えたのは、小学3年と4年生が最も多く、中学上がるにつれ減少する傾向だ。小学生は、「聞く・話す」で楽しく授業を受け、中学生になると「読む・書く」の文法があり、抵抗感があると考えられる。

問 どのような方法で成果を確認しているのか。

答（学校教育課長）
小学5、6年生は英語専科教員と担任が定期的に確認テストで評価している。中学生は、教科書や教材をもとに、小学校と同様に評価している。

問 小中学生の英検受験者と合格者の状況は。

答（学校教育課長）
令和4年度で小学校の受験者46人に対して25人の合格者で、割合は54%。中学校では、受験者77人に対して57人の合格者で、割合は74%である。

令和4年度 小中学校英検受験者数及び合格者数

学年総数	級	受験者数	うち合格者数	合格率
中学生 356人	5級	8人	8人	100%
	4級	30人	25人	83%
	3級	33人	22人	67%
	準2級	6人	2人	33%
	2級	0人	0人	-
合計		77人	57人	74%
小学生 799人	5級	28人	15人	54%
	4級	15人	7人	47%
	3級	2人	2人	100%
	準2級	1人	1人	100%
	2級	0人	0人	-
合計		46人	25人	54%

がんばってるな！

問 町として、この合格率で満足できる数値か。

答（学校教育課長）
町内の小中学校に在籍している期間内で、最低1回は受験にチャレンジして、中学3年までに

英検3級の取得を目標にしていた
だきたい。英検のレッスンも実施
中なので取組んで欲しい。

問 試験前の指導は、A・L・Tに協力をしているのか。

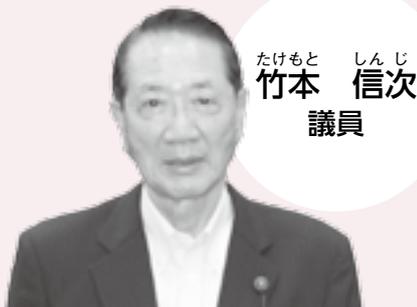
答（学校教育課長）
中学校の中間、期末試験前には、英語教科担任と共に、指導補助を行っている。

問 現在、英検検定料は半額負担だが、全額補助とすることはできないか。

答（教育長）
今年度は補助制度を見直し、既に英検の級を取得済みの児童生徒を対象に、3級以上では全額補助を行っているので、ステップアップしたと考えている。

問 全額補助にした場合、財源の確保は必要だと思うが、町長の見解は。

答（町長）
英検だけでなく、スポーツや文化面など含め、町独自の特色ある補助制度を創設していく。



たけもと しんじ
竹本 信次
議員

産地の持続的な生産力強化を

答 持続的生産強化対策事業を進める



町生産者が無農薬で育てた青パパイヤ

果 樹、野菜(根菜類・葉茎菜類・果菜類)等産地の持続的な生産力強化等に向けた取組の支援や、町が主導する産地全体の発展を図る取組を総合的に国が支援する「持続的生産強化対策事業」にどう取組んでいるか。

答 (町長)
持続的生産強化対策事業は、主に都道府県が主導する事業となり、本町においては令和2年に果樹で1件の実績がある。また、令和4年度には要望が1件出ており今年度の事業採択に向けた手続きを農協と共に進めている。

問 代表的な農産物の生産者数及び販売額の現状を伺う。

答 (町長)
生産者は米が150名、小麦が27名、大豆が12名、ミニトマトが12名である。米の販売額は令和4年度の公表値で1億円。小麦が2143万円、大豆が435万円、ミニトマトが4.9億円となっている。

問 魚類漁獲量、海苔・アサリの出荷量と販売額の現状を伺う。

答 (町長)
魚類の漁獲量は、約73トンとなっている。海苔の出荷量と販売額については、令和4年度は、出荷量は1510万枚、販売額は約2億5千万円となっている。アサリについては、出荷額、販売額ともにゼロになっている。

問 アサリ漁業の向上を目指し、干潟保全事業を推進しているが、天然で新鮮な産地のアサリを美味しく食べられる日が来るか。

答 (農林水産課長)
そうなるように頑張っていくたい。



人気の地場産品「くちぞこの姿煮」

問 農水産物・地域食品における地域の魅力を活かしたブランド化の推進に向けて、どう取組んでいるか。

答 (町長)
包括連携協定企業との地域産物による共同開発で、くちぞこを丸ごと一匹高温調理加工した姿煮が商品化され、火の国ながす金魚まつりにおいて、くちぞこの姿煮が完売した。今後も町の農水産物を企業と連携してブランド化、商品化することで生産者の所得向上、地域の魅力向上等に努めたい。

委員会活動

委員会は、町の問題点等の調査・審査、改善や対応策を協議する。また、視察や研修を行い、議員の資質向上に努めている。

有明海沿岸道路の早期整備について要望書を提出



磯野委員長から要望書を受け取る西野太亮衆議院議員（中央）

地域高規格道路（有明海沿岸道路）整備促進等に関する調査特別委員会

7月26日からの3日間、大牟田市（三池港IC）～長洲町区間の早期整備について、議長と委員7名で、西野太亮衆議院議員をはじめとした県関係国会議員、国土交通省や財務省の関係省庁に要望書を提出した。

有明海沿岸道路は、地域経済の活性化を図るとともに、災害時における救援活動や支援助物資の輸送路となる「命の道」としての役割を果たすものであり、早期整備が本町住民の強い願いである。

現在、三池港ICから荒尾市大島まで高架橋の工事が着々と進められている。一日も早く長洲町でも工事が始まるよう、今後要望活動を重ね、しっかりと地元の声を届けていきたい。

要望書の内容はこちら



ひと言

梅雨の大雨洪水、夏の40度を超える気温、秋には猛烈な台風の接近・上陸と、数十年に一度の異常気象が毎年のようにニュースになる。国からの情報は、避難情報の変更や熱中症アラートの配信等、時代に沿うように変更されている。振り返ると、今まで同様「これくらい大丈夫!」と思ってしまう自分がある。これからは自分の感覚・考えも、時代に合わせて進化させていく必要がある。

（田成）

広報調査特別委員会

発行責任者

- 委員長 荒木 睦子
- 副委員長 福田 史治
- 委員 田成 護
- 委員 前田美和子
- 委員 林 敏哉
- 委員 福本みや子
- 委員 濱村 芳光
- 議長 福永 栄助

「ながす議会だより 潮さい」は
長洲町議会 検索 でもご覧になれます。

町民のひろば

議会見学 Q&A

(抜粋)

●議員の役割は、議会で質問するだけですか？

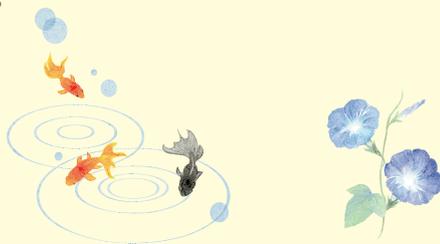
議員の役割は、住民の代表として町の大事なこと（予算やルールなど）を決めることです。議会の他にも、委員会等の会議や研修へ出席したりします。

また、住民の要望を聞いたり、情報発信をしたり、議員個人が行ういろいろな活動があります。

●長洲町に住んでいる私たちには、議会で話し合われた内容は伝えられているのでしょうか？知りたいです。

議会だよりや会議録で、議会の内容を伝えています。

議会だよりは年に4回、町内の全世帯に届けています。会議録は図書館等で自由に閲覧できるほか、町のホームページでも公開しています。



傍聴席で一般質問を聴く児童

6月12日、長洲小学校の6年生32人が、社会の授業の一環として議会を見学した。

町の意思決定の場である議会に実際に足を運んで見学することで、児童の関心を引き、地方自治への理解を深めることを目的としている。

見学後、児童から多くの質問が寄せられ、後日、これらに回答するため出前授業を行った。

※児童等の傍聴入場や写真撮影は規則により制限をかける場合がありますので、事前にお問い合わせ下さい。

傍聴席から
長洲小学校6年1組

皆さん傍聴に来てみませんか！

次の定例会は
9月11日(月)
開会の予定です

※一般質問の内容は町ホームページで閲覧できます。

■問い合わせ先
議会事務局
電話 78-3291

手続きは住所・氏名・年齢を書きだけです



「知らなかった！」と驚きの声も

6月19日、町職員が行った出前授業では、議会のしくみや町の予算等について説明した。児童から活発な質問があり、「教育にも多くの税金が使われていることがわかり、学校が大切に使おうと思った」等の感想が寄せられた。